

3 トラクターコード事業

【令和7年度予算概算決定額 8（7）百万円】

<対策のポイント>

安価な農機流通による国内生産コスト低減に資するため、国際標準に係る議論に参画します。

<事業目標>

農業機械の効率的な輸出入の推進により、コスト低減や安定供給に貢献

<事業の内容>

- 農業機械の性能及び安全に係る国際基準を策定する場であるOECDトラクターコードに対して**分担金を拠出し**、我が国の標準との同等性を確保するため、議論の場に参画します。

【OECDトラクターコードに加盟する必要性】

OECDトラクターコードを脱退すると、

- 輸出するトラクターについて、国内で受検した検査データがOECDで活用できなくなり、輸出国ごとに別途検査費用が発生するなどコストが増えるため、我が国農業機械メーカーの価格競争力が低下するおそれがあります。
- また、輸入するトラクターについても、現在OECD準拠として国内での検査が免除されていますが、再検査する必要が生じ、その分のコスト増を農家が負担しなければならなくなるおそれがあります。

<資金の流れ>



※ 令和6年度の分担率。分担額は各参加国のGNP比に応じ一定の範囲で負担額が決められています。

<事業イメージ>

事業イメージ・具体例

- OECDトラクターコード参加各国の政府が指定した検査機関（我が国は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）において検査データをもとにOECDテストレポートを作成、国際流通に活用。



期待される効果

トラクター等農業機械に関する実質的な国際標準であるOECDトラクターコードに引き続き拠出し、我が国の標準と他国のものを整合させる。



我が国農業機械メーカーの海外展開を下支えするとともに、国内農業機械の供給価格を抑制。

世界市場の獲得と、我が国農業生産のコストダウンの実現

【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局国際戦略グループ（03-6738-6155）
（2）農産局技術普及課（03-6744-2111）